

# 教育活動その他の学校運営の状況に関する情報

## 大原簿記情報医療専門学校

### 1. 学校の概要、教育目標等

教育目標	早期大人化教育、学科の専門教育 社会人として通用する専門能力と常識を身に付け、自分の力で切り開いていくことができる人間として成長するとともに、社会人としての自覚や精神的な自立、資格試験や公務員試験の合格に必要な実務能力を備えることを目標とします。
特色等	トライアングル教育 ・トライアングル教育とは、①学生個人の力、②クラス力、③教師力の三者のパワーを相互連携する教育システムであり、このトライアングルパワーを最大限に引き出すことで、希望の資格試験や公務員試験、就職内定の合格実現性を高めていきます。 ・独自の学生手帳（トライアングル手帳）を活用する等、学生生活を通して学生自身により自己管理能力、自己継続力が養われる教育を実践します。
校長名	中澤泰吉
所在地	愛知県名古屋市中村区名駅三丁目20番8号
連絡先	TEL 052-582-7735（入学相談室） FAX 052-582-7736
学校の沿革	昭和57年 大原簿記専門学校開校（名古屋市中村区名駅南）
	昭和63年 現在地（中村区名駅三丁目）に校舎移転
	平成3年 四年制学科（税理士研究科、現公認会計士・税理士科）設置
	平成22年 大原簿記情報医療専門学校に校名変更
在籍学生数	463名（男子254名、女子209名）
教員数	53名（常勤53名）

### 2. 各学科の教育（1）

商業実務専門課程 公認会計士・税理士科（4年・2年）	
教育目標	企業会計・会計監査・税務申告に関するプロフェッショナルの養成を目的とした専門教育を実施します。 高度資格教育と共に、PC教育・実務教育も充実しているため、財務・経理部門で即戦力となる人材を育成します。
募集定員	2学科合わせて110名（令和2年度入学者76名）
取得目標資格	公認会計士、税理士、日商簿記、全経簿記、Word検定、Excel検定
進級の要件	出欠席の状況及び資格試験、定期試験の成績により4段階（優、良、可、不可）で評価し決定します。
卒業の要件	所定の課程を修了し、試験等に合格した者について、平素の成績及び品行を斟酌し決定します。
就職状況	卒業者数52名：就職者数22名（関連分野22名、関連外分野0名）、進学者数28名

商業実務専門課程 経営ビジネス科（2年）	
教育目標	営業・販売・接客・秘書・経理に関するスペシャリストの養成を目的とした専門教育を実施します。企業会計に関する教育やプレゼンテーション指導も充実しているため、幅広い業界で活躍できる人材を育成します。
募集定員	80名（令和2年度入学者42名）
取得目標資格	日商簿記、秘書検定、コミュニケーション検定、ビジネスコンプライアンス検定、ビジネス電話検定、Word検定、Excel検定
進級の要件	出欠席の状況及び資格試験、定期試験の成績により4段階（優、良、可、不可）で評価し決定します。
卒業の要件	所定の課程を修了し、試験等に合格した者について、平素の成績及び品行を斟酌し決定します。
就職状況	卒業生数39名：就職者数39名（関連分野37名、関連外分野2名）

## 2. 各学科の教育（2）

商業実務専門課程 医療事務科（2年）	
教育目標	医療機関における受付対応、保険請求事務、秘書業務等に関するスペシャリストの養成を目的とした専門教育を実施します。カリキュラムにインターンシップを取り入れ実務に強く即戦力となる人材を育成します。
募集定員	60名（令和2年度入学者22名）
取得目標資格	診療報酬請求事務能力認定（医科）、医療請求事務検定、医療秘書実務検定、秘書検定準1級、Word検定、Excel検定、日商簿記検定
進級の要件	出欠席の状況及び資格試験、定期試験の成績により4段階（優、良、可、不可）で評価し決定します。
卒業の要件	所定の課程を修了し、試験等に合格した者について、平素の成績及び品行を斟酌し決定します。
就職状況	卒業生数23名：就職者数22名（関連分野21名、関連外分野1名）

商業実務専門課程 情報処理科（2年）	
教育目標	情報処理技術知識とビジネス必須の簿記会計知識を向上させる教育を実施します。さらに高度なITスペシャリストを目指し、プログラム開発技術を学び、グループワークにより独自開発もできる人材を育成します。
募集定員	60名（令和2年度入学者16名）
取得目標資格	応用情報技術者、基本情報技術者、情報セキュリティスペシャリスト、情報処理検定、
進級の要件	出欠席の状況及び資格試験、定期試験の成績により4段階（優、良、可、不可）で評価し決定します。
卒業の要件	所定の課程を修了し、試験等に合格した者について、平素の成績及び品行を斟酌し決定します。
就職状況	卒業生数10名：就職者数9名（関連分野4名、関連外分野5名）

## 2. 各学科の教育（3）

商業実務専門課程 公務員科（2年）	
教育目標	警察官、消防官、事務系公務員に必要な幅広い一般教養と法律基礎知識を学習し、ボランティア活動や地域イベントへの参加により、社会貢献力を持った人材を育成します。
募集定員	80名（令和2年度入学者81名）
取得目標資格	漢字検定、各種公務員試験
進級の要件	出欠席の状況及び資格試験、定期試験の成績により4段階（優、良、可、不可）で評価して決定します。
卒業の要件	所定の課程を修了し、試験等に合格した者について、平素の成績及び品行を斟酌して決定します。
就職状況	卒業生数83名：就職者数75名（関連分野39名、関連外分野29名）進学者数5名

商業実務専門課程 経理事務科（1年）	
教育目標	1年という限られた教育期間の中で、医療事務員として必要なスキルである受付対応、保険請求事務、簿記会計能力の習得を目指し、短期間で即戦力となる人材を育成します。
募集定員	30名（令和2年度入学者0名）
取得目標資格	診療報酬請求事務能力認定（医科）、医療請求事務検定、医療秘書実務検定、Word検定、日商簿記検定
卒業の要件	所定の課程を修了し、試験等に合格した者について、平素の成績及び品行を斟酌し決定します。
就職状況	卒業生数4名：就職者数2名（関連分野2名）

## 3. キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年次2学期以降、入社前就職教育システムにより入社後を想定した実践形式の学習を実施します。</li> <li>・医療事務科（2年）では、1年次の3学期に医療機関における医療実習を実施します（医療事務実習の授業として計168時間を履修します）。</li> </ul>
就職支援等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職活動全般を基礎（企業研究、一般教養科目、履歴書作成等）から応用（面接対策、企業ガイダンス参加準備等）まで実施します。</li> <li>・担任と就職専任職員との連携による、学生の希望と個性を重視したカウンセリングを実施します。</li> <li>・就職専任職員による就職活動相談は随時受付が可能です。</li> <li>・求人情報等の自由閲覧が可能です。</li> <li>・最新の求人情報や説明会情報などは担任を通じて学生に連絡いたします。</li> </ul>

## 4. 様々な教育活動・教育環境

学校行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内研修（菅平研修所・富士宮研修所）、バス研修旅行などの研修</li> <li>・スポーツフェスティバル（学園全体での運動会）、合格祝賀パーティ など</li> </ul>
課外活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野球部、サッカー部、バスケットボール部、バレーボール部、卓球部、吹奏楽団などのクラブ活動</li> <li>・大原カーボンオフセットプログラム（資格試験合格者などに種や苗木を配布し、自治体の植樹活動に協力する活動）や周辺の地域活動への積極的な参加 など</li> </ul>

## 5. 学生の生活支援

生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席換算日数に応じて、担任・教務責任者・校長による面談（必要に応じて保護者を含む）を実施します。</li> <li>・学生と担任との面談は随時実施します。</li> </ul>
資格取得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専攻する学科の資格試験以外の他資格へ挑戦する学生に対し、附帯教育の無料聴講制度や割引受講制度を準備しています。</li> <li>・自動車運転免許の取得支援（安価でカリキュラムに支障のない免許合宿の斡旋）を行っています。</li> </ul>

## 6. 学生納付金・就学支援

学生納付金	入学金	200,000円	入学手続き時に納入していただきます。
	研修・教材費	80,000円	
	授業料(年間)	720,000円	6種類の納入パターンから自由選択していただきます。
	維持費(年間)	180,000円	
<p>※6種類の納入パターンは次のとおりです。</p> <p>①年間一括（3月納入）、②半期一括（3月、7月納入）</p> <p>③各学年完納毎月均等（毎月15日引落）、④各学年完納奨学金利用（毎月15日引落）</p> <p>⑤卒業後延納毎月均等（毎月15日引落）、⑥卒業後延納毎月均等（毎月15日引落）</p>			
就学支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本学生支援機構の奨学金制度が利用できます。</li> <li>・特別奨学生制度（資格経歴認定特別奨学生、奨学生試験認定特別奨学生、兄弟姉妹等特別奨学生）により学費の一部が免除されます。</li> <li>・学園提携ローンをご紹介いたします。</li> </ul>		